

第5回理事会 議事録

一般社団法人 尾道青年会議所
2022年度 第5回 理事会議事録

日時：2022年 5月 6日（金）19：00～

場所：オンライン（ZOOM）

（出席者）

今岡正英・島田元太、高升純・吉田雄太・歌一行・高橋建太・加藤雅崇・村上康・村橋聡・大池慎三・平岡良之・内海洋平・村上直弘・加藤雄大・半田祐喜・小西琢真・沼尾一・島田昌広・中島裕一郎・高垣悟・安保大輔

（欠席者）

安楽城大作・大西貴明

（遅刻）なし

（早退）なし

1. 開会：（中島裕一郎）
2. 点鐘
3. JCI クリード唱和
4. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和
5. JCI 宣言文朗読並びに綱領唱和
6. 出席者の確認：（中島裕一郎）
7. 配布資料の確認：（中島裕一郎）
8. 議事録署名並びに議事録作成者の氏名：（今岡正英）
9. 議題の確認：（中島裕一郎）
10. 理事長挨拶：（今岡正英）

本日もお集まり頂きありがとうございます。皆さんの中の殆どの方がご存知だとは思いますが、まず式典に関しまして変更を本日の臨時正副理事長会議にて話をしております。理由としましては、お名前を出させていただきますが、大西専務が新型コロナウイルスの陽性判定を受けたということで、LOM 内の感染者が式典前に出たため内容を変更させていただこうと思っております。臨時正副でその内容については話をさせていただいております。本日の審議事項の最初にその他として式典の変更部分について皆さんにお伝えをし、意見・質問をお伺いしようと思っておりますのでよろしく願いいたします。

感染者が出たということに関しましては必要があれば委員会メンバーにお伝えをさせていただいて構いません。恐らくなぜ変更になったのかというのは気になるころだと思しますのでその判断につきましては皆様に一任させていただきます。

第5回理事会 議事録

報告について2点ございます。まず5月20日の異業種交流会に関してですが、今回の件を受けて懇親会、お酒を飲む場を伴うということで一旦中止とさせていただきます。翌月に降行うかどうかという部分に関しましては今協議をしておりますのでまたその内容が決まり次第皆さんにはお伝えできるかなと思います。

そして、先週会員会議所会議がございました。その中でアカデミー事業の審議があり、無事審議可決されておりますので、本日のLOM内の審議にて最終確認ということでよろしくお願いたします。

先日日本青年会議所の中島会頭が東広島に来られました。県内の各役員、理事長・専務の皆さんが出席して講演を聞くという場がございました。その中で尾道の今の状況、問題点に関わる部分がありましたのでそのお話をさせていただこうと思います。その内容というのが、現在出席率の低下というのが課題としてあるかと思っています。それに関して中島会頭がおっしゃられたのが、若手の会員、もしくはフロアメンバーがなかなか出てこない、出てこれないという状況がある物に対してどういうアプローチをしていくべきなのかというお話の中で、そういったメンバーにもっとスポットライトを当ててあげてほしいというお話をされておりました。どうしてもフロアメンバーというのは重要な仕事を任されたりと言うのを嫌がる部分があるのかなと思うのですが、みんな活躍の場を求めて青年会議所に入っているわけですし、責任感のある方々ばかりなのでそうした若手、フロアメンバーに対してスポットライトを当てていただきたいなと思います。それができるのが理事である委員長・副委員長の皆様になりますので是非、そうしたメンバーに気を使って、いろいろな仕事も任せながらフォローをしていただきたいと思います。出席率の向上にもつながることかと思いたしましたのでお話をさせていただきました。

本日は協議事項として6月例会・7月例会そして新入会員ガイダンスがありますので皆様の忌憚なき意見をよろしくお願いたします。

1 1. 直前理事長挨拶：(安楽城大作)

欠席のため割愛。

1 2. 理事長報告：(今岡正英)

資料にて確認。

1 3. 委員会報告：

【65周年特別室】(吉田雄太)

「65周年実行特別委員会」(村上康)

・3月31日、4月8日、4月19日、4月20日、4月21日に委員会を行っております。

「総務広報委員会」(村橋聡)

第5回理事会 議事録

- ・委員会報告は記載のとおりです。
- ・アジェンダシステムの勉強会を6月7日～10日までの間に事務局にて行います。後日事務局より希望日の調査をしてもらいます。
- ・本日協議案件が1件あります。

【地域創造室】(歌一行)

「共創まちづくり委員会」(平岡良之)

- ・委員会報告は記載のとおりです。

「まちの未来創造委員会」(村上直弘)

- ・委員会報告は記載のとおりです。
- ・本日審議事項が3件ございます。

【人財育成室】(高橋建太)

「青少年育成委員会」(半田祐喜)

・まず4月17日に行われました家族会にご参加いただきありがとうございました。今後の事業も引き続き頑張ってまいります。

- ・委員会報告につきましては記載のとおりです。
- ・本日協議事項が1件ございます。

「会員拡大委員会」(沼尾一)

- ・本日新たに仮入会員を獲得しました。現状8名です。
- ・協議事項1件ございます。

14. 審議事項：(今岡正英)

追加議案 創立65周年記念式典 修正に関する件

※臨時理事会議事録を参照

第1号議案 3月例会 事業報告(案) 決算(案)に関する件

(村上直弘)

【資料説明】

(今岡正英)

こちらの議案に関しましてご意見・ご質問のある方は挙手にてお願いいたします。

(半田祐喜)

テーブルのアクリルパーテーションは会食がなくとも設置が必要という国際ホテルさんか

第5回理事会 議事録

らの指定があったのでしょうか。

(村上直弘)

当日になり国際ホテル様の感染防止対策の観点からパーテーションはして欲しいとのお話を伺いました。

※全会一致で審議可決

第 2号議案 ブロックアカデミーの企画（事前説明会）・運営 事業計画（案）に関する件

第 3号議案 ブロックアカデミーの企画・運営 事業計画（案）に関する件

(村上直弘)

【資料説明】

(今岡正英)

こちらの議案に関しましてご意見・ご質問のある方は挙手にてお願いいたします。

特にないようですので採決に移ります。賛成の方は挙手にてお願いします。

※全会一致で審議可決

第 4号議案 その他

削除

15. 協議事項：(今岡正英)

第 1号議案 6月例会 事業計画（案）予算（案）について

(半田祐喜)

【資料説明】

(今岡正英)

こちらの議案に関しましてご意見・ご質問等ある方は挙手にてお願い致します。

(加藤雅崇)

背景にある「大人の固定概念が子供の想像力の芽を摘んでいることがある」とありますが具体的にどのような場面でそのように感じられるのでしょうか。

(半田祐喜)

妻が保育士をしており、保育の現場のいろいろな話を聞くのですが、先生でも子供との接し方が違って、先生によっては他の子供と違うことをすると注意する先生がいるそうです。その子は人一倍好奇心があり、じっと同じものを見たり、カートの下をかがみ込んで覗き込んだりする子らしいのですが、そういう子に対してすぐに注意して止めてしまうというのが、その子供の想像力や才能にブレーキをかけてしまっているのではないかなというのがありまして、そういう子供の個性や特徴を見極めて行動するということが子育て世代には必要なのではないかなと感じました。

(加藤雄大)

講師の先生についてですが、略歴を拝見していると著書も出されておりメディアへの露出も多い方でその道では著名な方なのかなと思ったのですがどのように例会に来ていただくようにアプローチされて内諾をいただいたのでしょうか。

(半田祐喜)

野出氏は家族会のからくり装置づくりの際に一度アポをとって ZOOM で打ち合わせをさせていただきました。はじめはアドバイザーとして家族会にお呼びしようと思ったのですが予算の関係で難しく断念しました。その後本例会でこういった内容を考えた際に再度先生にアプローチをし今回はご縁をいただくことができました。

(加藤雄大)

この方がこれまでやってこられたことを拝見すると講演よりはワークショップのほうが講師の方の良さが出るのでないかと思えますので、今回の例会は両方やられるということだと思いますが本事業で体験型のことを考えられるのであればこの先生のご意見も仰いでやっていかれるのも良いのではないかなと思いました。意見です。

(村上康)

通常開催で講演からワークショップが25分ということで楽しそうな内容だと思うのですがオンラインになった場合ワークショップがなくなるわけですがはさみやコップなら各家庭にありそうなのでウェブでもワークショップのようなことができないのかなと思ったのですがそのあたりお聞かせ願えるとうれしいです。

(半田祐喜)

オンラインでワークショップを削った理由としましては事前に促していても準備をし忘れる方も出てこられると思い、皆さんがワークショップをしている間に何もやる人がいないという人が出てきてしまうのではないかと思ったためなのですが、この場でも意見が出ま

したので講師の先生とも話し合いをしながらなにかできないか考えてみようと思います。

(加藤雄大)

アンケートに凝り固まった想像力をほぐすヒントがあったかなかったかという質問があって、そのあとの質問はあったと答えた方のみになっていますが、なかったと感じた方の意見も後で参考になる可能性もありますので両方の意見も記述できるようにしておくの良い意見が得られるのではないかと思います。意見です。

(半田祐喜)

もう一度検討して考え直そうと思います。

(加藤雅崇)

ワークショップが「どのような言葉選びや伝え方をすれば、受け取る側のモチベーションが上がるのか」という記載がありますがこれは0から1を創るという部分ではなく伝え方の方を学ぶという趣旨であるということ間違っていないでしょうか。

(半田祐喜)

0から1を作り出そうとしている子供たちのモチベーションを損なわないようにするにはどうすればいいのか、子供に対してどういった言葉を使うべきかと言うのを学ぶ場として考えております。

(加藤雅崇)

ウェブ開催になった際に講演50分でばっさりワークショップがカットされているということでもしワークショップはできないということであれば公演時間を伸ばしてでもワークショップで学ぶ予定だった内容をお話いただければなと思っています。

(半田祐喜)

ウェブ開催の場合は講演でも触れていただく予定でしたが先程の意見でウェブでもワークショップができるのではとのことだったのでそれも踏まえて考えていきたいと思っています。

(島田昌広)

ワークショップに関しまして、25分で講師が各テーブルを回ってワークショップを行うということですが、講師がついている席は言葉を拾っていただいたりアドバイスを頂けると思うのですが講師が回ってくるまでは、どういう言葉を使ったかとかどういった進行をしているのかというのが講師はわからないと思いますので、講師が回ってくる間に反応や使った言葉を控えておくメモ用紙を準備するなどをしておかなければ講師が入った際に状

第5回理事会 議事録

況がわからないと思います。例えば子供役をつくるのかとかメモを書く書紀のような役割が必要なのかなど具体的なワークショップの進行が分かりづらいのでそこを教えてください。

(半田祐喜)

講師がテーブルを回ると書いていますが内容としてはマイクを使って全体に言葉掛けをしていくというイメージを予定しています。

(島田昌広)

委員会メンバーは当日は各テーブルについて手助けをするなどのことは考えていますか。

(半田祐喜)

講師の先生には委員会メンバーの手助けが必要かどうかは聞いていますが現状先生から要請はされておられません。ただ確かにメンバーが入ったほうがフォローをしたり様子を見たりと手助けになるとも思いますので委員会メンバーに手伝ってもらおうという設えを考えようと思います。

(島田昌広)

はさみの使い方を説明するという話がありましたがこれは誰が誰に対して説明するのかなど教えてください。

(半田祐喜)

はさみをつかって紙コップを切るという一例を使って、講師の先生がメンバーに話しかけるのですがその話しかけ方で聞き手がどういう感情、メンタルを持つかという部分を学んでもらおうと思っていますので大人役、子供役などは考えておられません。

(村上直弘)

会場での物販で先生の著作物を調べたところ工作ブックが多いように思えたのですがそれをメインに置く予定でしょうか。何を置くか教えてください。

(半田祐喜)

物販の内容や個数は打ち合わせ中でして工作の本がメインではないですが先生が作成されている木のおもちゃなど本以外にも作品が色々と載っておりますのでメインは工作の本以外になります。詳細は確認中です。

第 2号議案 7月例会 事業計画(案) 予算(案) について

(村橋聡)

【資料説明】

(今岡正英)

こちらの議案に関しましてご意見・ご質問等ある方は挙手にてお願い致します。

(村上直弘)

3分間スピーチのお題は委員会に持ち帰って説明してもいいのでしょうか、それともその場での発表となるのでしょうか。

(村橋聡)

3分間スピーチをするということ自体もできれば伏せておいてほしいと思っております。私がこれまで経験した中では3分間スピーチというのは突然振られるというのが常でしたので、逆に3分間スピーチがありますよと言ってやるよりはその人を本当に見るということ考えた場合は突然出てその場でやっていただきたいと思っております。

(沼尾一)

通常開催の場合に3分間スピーチで欠席になった方は文書の寄稿をという記載がありますが遠方の地に出張が決まってどうしても出れませんという場合でもハイブリッド開催というわけではなく現地になかった場合は寄稿ということになるのでしょうか。

(村橋聡)

ハイブリッド開催は今回予定しておりませんので出席できない場合は寄稿という形を取らせていただければと思います。

(加藤雄大)

4の事業目的を拝見しての質問ですが、近年入会者についてより深く知るというのと3信条の再確認をすることを目的とするという記載があるのですがこの2つの目的のつながりがイマイチよくわかりません。そのあたりどのようにお考えなのか教えてください。

(村橋聡)

3信条と深く知るの繋がりに関しまして、3分間スピーチはあくまでも手法となると思っています。この3信条においてここ最近欠けていると感じているのが修練であるという風に思います。修練といえば3分間スピーチというわけではないですが、その中の一つとして行っていく流れによって3信条というのを再認識する。やはりこの3信条がしっかりしていないと我々はこういった意味で活動をしているのかというのが曖昧になってきますので

第5回理事会 議事録

これをやっていきたいと思ったのがこの例会を組立てた私の思いであります。

(加藤雄大)

修練をするための手法として3分間スピーチを選ばれたということですがそれに加えて近年入会者たちのキャラクターも知っていこうという理解で正しいでしょうか。

(村橋聡)

その通りであるという回答になります。

ここ数年自分の委員会メンバーしか知らないという状況になっており、普通であればリアル開催をすれば例会前、合同委員会前に話す機会もあったわけですが、コロナ前までと違う、寂しさを感じるという状況になっています。新入会員の方々も同じだと思います。最近入会された方はなんの活動をしているのかわからないという方もいると思いますのでそのあたりも一緒に解消したいという思いもあり今回の例会を設えたいと思っています。

私が今回例会をするにあたって3つやりたいことがあり、一つが今までの青年会議所活動としてできていたことがしたい。もう一つが完全手作り例会がしたい。そして最後に7月といえば浴衣会なのでその内容も一部取り入れたいと思い構築しました。

(加藤雄大)

ルールとしては入会歴の浅い方だけでなくベテランも含めてみんなをみんなを知ってもらおうという機会にしたいという考えで正しいでしょうか。

(村橋聡)

その通りです。

(加藤雄大)

であれば、これは意見ですが、ベテランのメンバーであればその場でパッと見せられて3分間喋ると言うのはできると思いますが浅い方だと難しいこともあるので自己紹介などのもっと簡単なお代も入っていれば話もしやすくなるのではないかと思います。

(村橋聡)

参考にしようと思います。

(沼尾一)

今回近年入会者の余興を復活させたいということで予算1万円で計上されていますがこれは例年どおりのものを踏襲しているのでしょうか。また入会の20年、21年の人数、当日の参加人数の想定がどの程度であるかも教えて下さい。

(村橋聡)

金額につきましては特段今までとくらべてどうかというと同じぐらいになるかと思いますが、決められた予算の中で考えて設えて頂きたいというのがあります金額設定をさせていただいております。出席率の見込みですが全員来てほしいというのがあります例会の最近の出席率より多い75%程度の方々には出席していただきたいと思っています。

(沼尾一)

準備の期間も必要になると思いますので20年度21年度の入会者に配慮していただけるような案内をしていただけるとありがたいです。

(村橋聡)

しっかりと事前のアナウンスを行って費用が無駄にならないようにしていこうと思います。

(島田昌広)

3分間スピーチの採点方法に関して、スピーチを終え、採点が終わってから講評するという設えになっていますが講評者を設定する意義と講評してから採点の方が講評者の思いが反映されて良いのではないかと思うのですがいかがでしょうか。

(村橋聡)

3分間スピーチの講評は他 LOM の方々がよく使っている制度です。他の LOM の方々は次の例会で3分間スピーチをする人を決めて次回行う、また講評者も決めるという場所がありました。なぜこれを行うかと思いますが講評者を設定することでしっかりと話しを聞く気持ちを創ることができるというのがあります。講評なしだと自分が話すタイミング以外は聞き流してしまいがちになってしまいますので。

講評のタイミングに関してですが確かに講評後の採点は面白そうではありますので持ち帰って議論しようと思います。

(小西琢真)

講評者も話をする時間が決まっているのでしょうか。

(村橋聡)

講評者の時間については特に制限は設けていませんがタイムスケジュール上は1スピーチ5分と考えております。3分間スピーチ、採点、講評とありますので1分程度で考えていただければと思います。

第 3 号議案 新入生ガイダンスの調査・研究・実践 事業計画 (案) 予算 (案) について

(沼尾一)

【資料説明】

(今岡正英)

こちらの議案に関しましてご意見・ご質問等ある方は挙手にてお願い致します。

(加藤雅崇)

自分が受けたときのことを振り返るとその時は私も JC のことがわかっていなかったのだから聞いていただけという側面が強かったなと思うのですが、そういう人でも楽しめる、フックが効いていればそのことがより入会につながると思います。あまり硬い内容を読み上げるだけだと合わないと感じる人もいますのでそのあたりは考えて当日プレゼンする方はされたほうがいいかなと思いました。意見です。

(沼尾一)

実際に僕もガイダンスを受けた時に青年会議所がどんなところかというのを淡々とお話いただいた場ということで堅苦しいイメージがありますので、話す司会者やパワーポイントで説明する講師役の方には抑揚や話し方、インパクトをつけるなどの工夫を施してなるべく興味を持っていただけるような調整をしたいと思います。

(村橋聡)

予算を見ているところ郵送費の 3,000 円というのがありますが内訳はどうなっているのでしょうか。また 6-5 に関しまして予備費に郵送費が入っていますのでそこは修正していただければと思います。

(沼尾一)

少し多めに郵送費をとっております。切手代に関しましてたくさん会員を入れるとそのぶんふえますのでバッファをとっております。記載間違いに関しましては審議にて改めさせていただきます。

(村橋聡)

単純に 20 名で割って一人あたり 150 円となりますが本当にその金額で郵送できるのでしょうか。

(沼尾一)

第 5 回理事会 議事録

内容物を見て再度検討させていただきます。

(内海洋平)

委員長が本年度の事業を説明する部分があるかと思いますが 7 月の段階でどの程度決まっているかとかまだ審議も通っていないとか状況によって異なるかと思うのですがどういった内容を説明される予定でしょうか。

(沼尾一)

時間もそこまで多くとっておりませんので 1 分～1 分 30 秒程度の長さで、新入会員さんに尾道青年会議所の事業に関して魅力を伝えられるような、来たいなと思ってもらえるような内容を仮入会員の方々に持って帰ってもらいたいので話せる範囲で、話をしていただければと思います。

(大池慎三)

この新入会員ガイダンスで一番持って帰ってほしいというものがあれば教えてください。

(沼尾一)

楽しい会であるというシンプルな思いを持って帰ってみたいです。新入会員ガイダンスを機に出てこられる仮入会員の方々もいらっしゃると思うので事業予定も含めて楽しそうであると感じて帰ってもらえればと思います。

第 4 号議案 その他

削除

16. 報告依頼事項：(中島裕一郎)

特になし

17. 連絡事項：(中島裕一郎)

・本日ブロックアカデミーの審議が降りましたので月曜日に案内をメンバーに送付させていただきます。案内文章で締切が審議の都合の関係で翌日となっておりますが実際は 12 日まで締切を伸ばします所以对象者の方には早期返答をいただければと思います。

・次回上程締め切り： 5 月 23 日 (月) 17 時まで

18. 監事講評

(島田元太)

皆様お疲れ様です。急遽 ZOOM での理事会となりましたが、このご時世いつどうなるか

わからないというのがありますので、皆様の迅速なご対応が拝見できたなど感じております。異業種交流会も中止・延期となったかと思いますが、勿論拡大と共に案内をされているメンバーの方が多数いらっしゃるかと思います。そこに関してのフォロー、拡大委員会を持って完全にしないとマイナスイメージしか残らないと思いますのでそのあたりは拡大飲会の方でもしっかりとフォローしていただければと思います。そして65周年の記念事業も急遽変更という形になっておりますので皆様委員会メンバーに事情と内容を十分説明した上で、もう来週ですとそのへんはしっかりと共有していただければと思いました。アカデミーに関しては無事審議が通ったと言うことで65周年に続き大きな事業となっております。これもどうなるかはまだわからないというのが実際のところですので、現在の動きというのでも合わせて共有していただければと思います。勿論感染の拡大に関して皆さんお気をつけだと思いますが、65周年が近いので十分にお気をつけ頂き、どの事業もいい形でお割れたらなと思いますのでよろしくお願いいたします。以上で監事講評とさせていただきます。

(高升純)

皆様お疲れ様です。私の方からは今日は一点お話させていただければと思います。苦言ではないのですが、気になったのが第1号議案の審議でのアンケートの回収率、68%であったという結果の上程が上がっていますが最近の一番の問題点が正直ここにあるんじゃないかなというのを私は感じました。ここにいらっしゃる皆さんは事業を構築する側としてたくさんの方の苦勞をされていると思います。私も実際に経験したのですが、人を集める側として一生懸命やったその後のアンケートの回収率が悪いというのは一方通行ではないですが受けてどう思ったのかというのをどうやって拾っていくのか、というのをここにいらっしゃる皆様は同じ理事として頑張ってきた同志の答えを拾うべきだと思います。そのアンケートの回収率が悪いというのをここに書いてることがちょっと寂しいなと私は感じました。これが例えば今コロナの時代で出れないという方に対してどうアプローチすればいいのかわからないという方もいると思うのですが、来れない方に対して来てほしいという思いと、これなかった方に対してどうその思いを届けるかというのも考えていく、その側、そして終わった後にどう思ったかと言うのをみんなで考えてあの人が頑張ったことに対してアンケートで答えてあげようというその思いが最近足りておらず寂しいと感じました。また7月例会でみんなで集まって久しぶりの浴衣会に代わる形という協議の上程が上がっていますが、私個人としては素晴らしい内容である、今足りていないことが叶う内容ではないかと思いました。みんなで集まって酒を酌み交わすではないですが、そういった形の泥臭い活動、そしてお互いの思いを交わし合う泥臭い人間関係ができれば街を巻き込んでいく素晴らしい活動ができる、そういった団体になっていけるのではないかと思いました。これからもこのメンバーで牽引役として巻き込んでいこうというそういう思いで活動していただければと思いました。本日は皆さんお疲れ様でした。

第5回理事会 議事録

19. 次回開催日の確認：(中島裕一郎)

6月 6日(金) 19:00より。尾道国際ホテルにて。

20. 閉会：(中島裕一郎)

21. 点鐘：(今岡正英)

第5回理事会 議事録

議長	今岡正英	印
署名人	島田元太	印
署名人	高升純	印
作成者	安保大輔	